

就職体験談

卒業生氏名：王晓惠（オウギョウエ）

卒業年月：2024年3月

卒業学部：中部学院大学 人間福祉学部人間福祉学科

私は、2024年3月に中部学院大学人間福祉学部人間福祉学科を卒業した留学生です。中部学院大学に入学する前に中部学院大学留学生別科で日本語を学びました。2020年4月中部学院大学人間福祉学部の介護福祉コースに入学し、卒業後は日本の特別養護老人ホームで就職しようと決めました。

私の知る限り、日本人の学生は通常3年生の時に就職面接を受けることが多いです。しかし、介護分野の募集開始が比較的遅いことなどもあり、私の面接時期は4年生の8月から10月頃と遅めで、最終的な就職先決定は10月末と急がなければならない時期だったと思います。この頃は、「介護福祉士国家資格」の勉強だけでなく、卒業論文の作成と発表もあります。そのため、将来介護の仕事をしたいと考えている皆さんは、早めに準備をしておいたほうが良いと思います。

さらに、留学生が就職面接に臨む際には、いくつかの注意事項があります。以下に、重要なポイントを挙げてみます。

1. 十分な日本語能力を持っていること。
2. 礼儀正しさや挨拶の仕方、身だしなみなどに気を配ること。
3. 自己紹介や志望動機、強みやキャリアゴールなどの自己PRを明確に伝えること。

これらの注意事項を意識して、十分な準備をして就職面接に臨むことで、日本の企業での就職活動に成功する可能性が高まると思います。

留学生として将来どんな仕事に就くとしても、専門知識や言語能力は必要で、活躍できる職種や業界は、地域の需要によっても違います。しかし、人間福祉学科の留学生は、異文化間の理解や国際的視野を持ちながら、地域社会や国際社会に貢献することができる多様なキャリアの選択肢を持っています。皆さん、自分が望むキャリアを手に入れられるよう、頑張ってください。